

表 1 死因順位の選び方（昭和54年以降）
Table 1 Categories for ranking of leading causes of death (since 1979)

乳児を除く死亡	乳児死亡
简单分類番号	死 因
1	コレラ
2	腸チフス
3	細菌性赤痢及びアメーバ症
4, 72	胃腸炎
5~6	結核
7	らい
8	ジフテリア
9	百日咳
10	猩紅熱
11	髄膜炎菌感染
12, 84	破傷風
13, 86	敗血症
14	急性灰白髄炎
15	痘瘡
16	麻疹
17	日本脳炎
18~19	ウイルス肝炎
20	発疹チフス及びその他のリケッチア症
21	マラリア
22	梅毒
23, 85	カンジダ症
24	日本住血吸虫症
25	フィラリア症
28~37	悪性新生物
38	良性及び性質不詳の新生物
39	糖尿病
40	栄養欠乏症
41	貧血
42	精神障害
43	髄膜炎
44	中枢神経系の非炎症性疾患
45	急性リウマチ熱
(46, 51~52) 54~56	心疾患
48~49	高血圧性疾患
58~60	脳血管疾患
61	循環系のその他の疾患
62, 63, 66	肺炎及び気管支炎
64	インフルエンザ
67	肺炎腫
68	喘息
69	胃及び十二指腸潰瘍
70	虫垂炎
71	腹腔ヘルニア及び腸閉塞
73	慢性肝疾患及び肝硬変
74	肝疾患（肝硬変を除く）
76~77	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ
78	前立腺肥大症
79~80	妊産婦死亡
81	先天異常
82	出産時外傷、低酸素症、分娩仮死及びその他の呼吸器病態
87	その他の周産期の死因
88	精神病の記載のない老衰
E104~E114	不慮の事故及び有害作用
E115	自殺
E116	他殺

表 2 死因順位の選び方（昭和43年から昭和53年まで）
Table 2 Categories for ranking of leading causes of death (1968—1978)

乳児を除く死亡	乳児死亡
国際50項目 死因分類番号	死 因
B1	コレラ
B2	腸チフス
B3	細菌性赤痢およびアメーバ症
B4, B46.e	胃腸炎
B5, B6	全結核
B7	ペスト
B8	ジフテリア
B9	百日咳
B10	レンサ球菌性咽頭炎および猩紅熱
B11	髄膜炎菌感染
B12	急性灰白髄炎
B13	痘瘡
B14	麻疹
B15	チフスおよびその他のリケッチア症
B16	マラリア
B17	梅毒および続発症
B18.a	癩
B18.b	破傷風
B18.c	敗血症
B18.d	日本脳炎
B18.e	伝染性肝炎
B18.f	カンジダ症
B18.g	日本住血吸虫症
B18.h	糸状虫症
B19	悪性新生物（リンパおよび造血組織の新生物を含む）
B20	良性および性質不詳の新生物
B21	糖尿病
B22	ビタミン欠乏症およびその他の栄養欠乏症
B23	貧血
B24	髄膜炎
B25	活動性リウマチ熱
B26, B28, B29	心疾患
B27	高血圧性疾患
B30	脳血管疾患
B31	インフルエンザ
(B32, B33.a) B46.d	肺炎および気管支炎
B33.b	肺炎腫
B33.c	喘息
B34	消化性潰瘍
B35	虫垂炎
B36	腸閉塞およびヘルニア
B37	肝硬変
B38	腎炎およびネフローゼ
B39	前立腺肥大症
B40, B41	妊娠、分娩および産褥の合併症
B42	先天異常
B43	出生時損傷、難産およびその他の無酸素症、低酸素症
B44	その他の周産期の死因
B45.a	精神病の記載のない老衰
B46.a	精神障害
B46.b	中枢神経系の非炎症性疾患
B46.f	肝臓の疾患（肝硬変を除く）
BE47, BE48	不慮の事故
BE49	自殺
BE50.a	他殺

注：昭和42年以前の死因順位の選び方は、昭和53年人口動態統計上巻75ページ付表3を参照されたい。